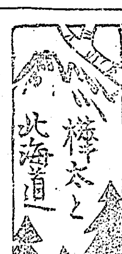
夕刊 磐城新聞
九月五日發行
(日曜祭日翌日休刊)

印象記(六)



山田生

豐原と大泊

○

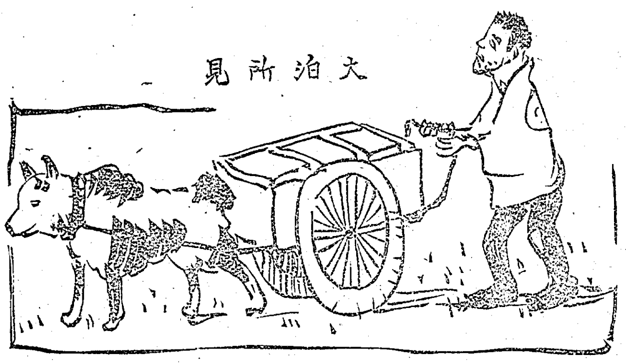
豐原の町は廣漠たる平地の中にポツンと出來た町だ。町の區劃は札幌に似てゐるがまだ充實しない丈けだ、裏通りには雜草が茂つてゐた。何だか輪廓のはつきりしない樣な町だ。

樺太廳の建物は壯麗だ。樺太廳の向ひの長官々舍は白樺御殿と呼ばれてゐるのださうだが門から玄關までの白樺の並木は見事なものだ。

○

官幣大社樺太神社は町の端れの高い山の中腹に鎭座してゐる、社務所を訪ふと數名の神官が控へてゐた。訪ふ人も少ないと見えて人懷かしさうであつた暫く内地の話などをして辭した

博物館は規模は小さいが内地では見得ぬものが澤山あつた、先覺者が樺太開拓に盡力された努力と事蹟には滿腔の敬意を捧げずにはゐられなかつた。



○

樺太では東京新聞は一昨々日の分でなければ見られない仙臺を發つてから何處まで行つても仙臺で見た新聞を賣られるのだ、北海道の新聞は當日のが夕方に見られる、北海道の新聞が地方的に地の利を占めてゐる理由はここにあると思つた

○

大泊は樺太では尤も感じがよかつた町も相當に活氣がある、起伏の多い土地を巧みに利用して町並が出來てゐる。

○

波止港の設備などは樺太の闕門として恥ぢない理想的なものだ。

新鮮なヱチゴを食はされたが珍らしかつた今が盛りだといふ、櫻の花が七月に入つて咲くといふのだから當然かも知れない。

○

町を歩いて見るとムク〳〵と毛の深い樺太犬によく遭ふ、至つておとなしいらしい、魚屋がリヤカーを曳かして後から押して歩いてたが犬が懸命に牽いて行くので人間とリヤカーを兩方を牽いて行く樣に見えた

○

將來を見越した可成がつちりした設備が多い、まだ〳〵發展の途上にあるべき町ではあるが現在のところではどうやら峠を越して下り坂にある樣な氣がされる花開かざるに散るといつた形ちではあるまいか、凡ての方面に行きづまりが感ぜられた。勿論現在の不況の反映ではあらうが憂慮すべき現象だ。

戲歌一束(二)

島田忠夫

吉田君をあんまといふは如何ぞや。彼、時に一管の銀笛を携へて街上に曲を奏す。まさにアンゼルセンの作中なる卽興詩人に似たり。うらむらく、わが吉田君の爲めに美少女アヌンチヤツタのあらざるを。

赤あきつ群るる夕べに笛吹きて卽興詩人歸り行くはや

銀笛をあな面白く吹く聞けば半ばは唄の聲まじるなり

笛吹くをある日は止みて雨の手に德利提げ行くあはれうた人

時代警語

(獨步)

○多くの歷史は虛榮の歷史なり。人類眞の歷史山林海濱の小民に問へ、哲學史と文學史と政權史と文明史の外に小民史を加へよ人類の歷史始めて全からん…(欺かざるの記)

○多くの歷史は歷史家の歷史なり(人間心靈ヒユーマニテーの叫聲を記錄せよ)學者の歷史なり政治家の歷史也、彼等頭裡の樓閣のみ傳記は斷じて歷史貴し……(同)

赤とんぼ(童謠詩)

原勝

蜩蟬も
嗜きやんで
新立山の
うすあかり

水を浴びよさ
出てくれば
釣瓶の竿の
赤とんぼ

明日の朝まで
雨降るな
水は汲まずに

拈華微笑

小十萬かける處を五百圓でお引つ越し。徹底した緊縮振りだ
◇
縣を粟喰はせてる豐間の衆。四倉より上は手だ
◇
養蠶で筆墨を買ふ。農山村の窮況子女に及ぶ
◇
陣痛の長かつた縣議候補やつと出來かかる
◇
繭も高い、二百廿日も無事と來れば天下泰平だ

川にゆく

學藝消息

△雜誌『日本とアメリカ』—アメリカ生れの日本人が日本語を習ふために、又外國人で日本語を學ぶ者のためにこの雜誌が出來た。しかし日本人一般が讀んでも勿論おもしろい。編輯は彥根高商教授世良琢磨氏、文藝主任は島田忠夫氏、英文と和文(ローマ字)との雜誌。定價二十錢。發行所、京都府龜岡町第二天聲社。

9月6日

△幕府銅の海外密賣を禁ず(安政六)△日露講和事件に付帝都騷擾す(明治三八)△河村瑞軒歿す、一代に巨萬の富を成せる奇々、又世に貢獻する處多し(元祿一二)△マツキンレー狙擊さる。一、八九六年大統領に選擧せられキユーバ問題、米西戰爭、布哇の合併、北淸事件を解決し一、九〇〇年再選せらる此日兩米大陸大博覽會の歡迎會に臨み無政府主義者の銃彈を受け其月十四日朝遂に薨ず(紀一、九〇一)

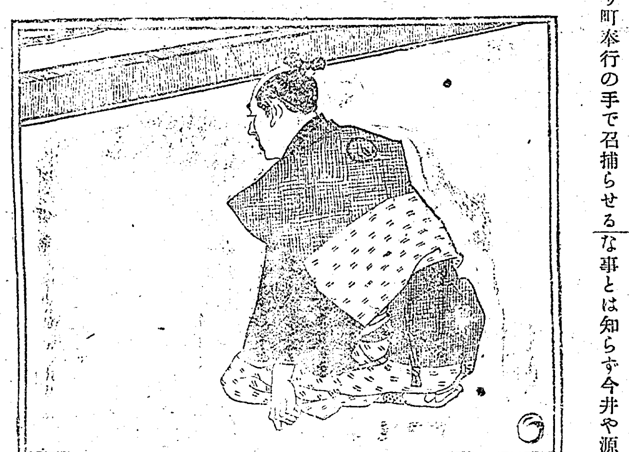
一日一禪

○
放魚池涸蛙爭聚
棲燕梁空雀自喧

講談 俠艶 女長兵衛(八)

東京 斯波南叟
(魚崎潮畫)

平兵衛が歸る翌日となると丈作が御殿から退つて來たから前川が其話しをすると丈作は喜んだの喜ばないのぢやアない 丈『堀主水兄弟は罪も恨みも無い我父と姉とを殺した大惡人……其主水の亂が世の中にあつたでは、死んだ姉親が浮ばれるものでない、好いものを見付けて呉れた、召上げて思ふ存分嬲り殺し早速殿樣へ言上する』○『御尤もでございますが、内訴に及んだ平兵衛の望みにはお舞と呼ぶ女は今晩婚禮を致すとの事、是非婚禮前にお召上げ下さるやう、其儀が叶ひますれば内訴の御褒美も入らぬと申して居ります、御褒美を出すとなるとなにし負ふ七十萬石のお小姓頭、餘程澁はさなくては成りますまい、其邊もお考へ置きが宜しうございます』下司張つた奴で、武士の癖に金錢にピロ〳〵してゐる、勿論藤本は成上りもので元は微々たる足輕お春が殿樣のお妾に上つたから、段々とお取立て、今では肩で風を切つて步く身の上……斯うしたものには卑しい心がある、用人前川の言ふところを大呑込みで 丈『是程の大事を告げながら褒美が入らぬとは、世の中には隨分變つた奴があるものだ』類は友で藤本と平兵衛とは好い取組に違ひない……再び丈作は御殿へ出て其事を申上げる、式部少輔は全く暗君だ、暗君だから家を潰したのでございませうが、お側には佞人小人ばかり集まり誰お諫め申上げるものも無いから 殿『ナニ主水の娘が存生で居るとな、それは初耳だ、早速引ッ張つて來い十八と申せば娘盛り、刀の試しには油が乘つて居て斬りが好いだらう、嬲り殺しに致し、今晩の酒の肴に致す、嘸面白からう』何んの面白い事があるものか……殿樣の御沙汰によつて、藤本丈作早速手配りを着けました、お國許とは違ひ江戶表の事でございますから、町人に手を下すには夫々手續きを經なければなりません、お國許ならば自分の支配下、郡奉行へ申付け捕方を向ければ、直に召捕つて參りますが、江戶は將軍家のお膝元町奉行と云ふものがある町奉行へお賴みになり町奉行の手で召捕らせる



町奉行でも……是々斯樣々々なものは、當家へ對して不都合な事がある、取調べなくてはならぬから、引上げて貰ひ度い……と云へば其通り取計らつて呉れる其の手續きをふんで町奉行の手で引上げて貰ふのが當り前だが、其の手順を執るには二日や三日の手間が取れます、平兵衛は今晩婚禮まへに取上げて呉れゝば褒美は入らぬと言へ、殿樣は今晩嬲り殺しにして酒の肴にすると云ふ、その通りにするには當然の順序を執つて居る譯には成りません、其處で丈作が 丈『町奉行支配下の者と雖も、當屋敷内へ引込んで終へば此方の支配になる、日のある中では遠慮もあるが、夜分になれば人目にも着かない、夜に入つて此方の、で引上て終へばそれでよい、兩國の米澤町から麻布の六本木まで引ッ張つて來る間の事だ構ふことはない引上て來い』と無法千萬にも平島庄助と云ふ部下の者に命じました。人間だから ○『嬲まつた廿く工夫を致します、召上げた以上途中が案じられるから、兩國の川べりに船を一艘繫いで置いて、其船へ引込んで芝浦へ廻し芝浦から麻布へ連込むやうにすれば下町の賑かな場所を通らずに濟む、然うすれば大丈夫……』と悉く呑込んで、捕方十人を引連れ、日の暮るのを合圖として兩國の米澤町へと乘込んで參る、そんな事とは知らず今井や源兵衛の家では、今夜婚禮と云ふので、親類緣者扨ては所隣の誰彼れ、出入りの鳶の頭や大工左官建具屋——或は小間物の下職のものなど集まつて大騷ぎ三國一の婿殿の乘込みを今か〳〵と待つて居ります。

ラヂオ

…六日(日曜)…
仙臺JOHK

△前九、〇〇A 氣象通報
△九、一〇A 榮養料理(鮑の陸遊…)榮養研究所
△九、三〇A (子供の時間)童謠と唱歌(子供のテキスト特選童謠…古城の月外八曲目)JOAK唱歌隊
△一〇、〇〇A 修養講座(昔の人物と今の人物)友松圓諦
△一一、〇〇B 講演(古社寺の研究)魚住惣五郎
△正午A 時報 ニユース 氣象通報 告知事項
△〇、三〇A ニユース
浪花節大會
△〇、四〇A (谷風情角力…歌燕、平手造酒…鶴燕 曾我物語…雲、佐渡の高浪…〆友、金比羅利生記…太郎、常陸丸…滿月)
△三、四〇A 氣象通報
△六、〇〇B (子供の時間)お伽歌劇(兎と龜)大濱少女劇團
△六、三〇A 講演(日本と滿州との歷史的關係)中島利一郎
△七、〇〇A ニユース 氣象通報 告知事項 番組豫告 生繭相場
△七、三〇A ラヂオレビユー(樂劇…大學の屋根の下)松竹樂劇部員
△八、一五 箏曲
△八、四〇 祭文(宿直袋)計見樂翁
△九、〇〇 獨唱 奥田良三
△九、四〇A 時報 氣象通報 番組豫告 生繭相場

廣告

芳醇無比
白馬の雪
松本德一吟釀
平電話二八五

品のヨイ
文具ヤスイてハナレビト
平マーケツト

夜間診療
胃腸 內科 十二指腸虫病 專門 內科部
梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 專門 外科部
松村胃腸性病科醫院
(平南町電話一〇七番)

貸切ノ御用命ハ
イツデモ眞先(マツサキ)ニ(松崎(マツサキ)ニ)
三九二(ミクニ)タクシーへ
(デンワ、ミクニ)

高久病院
平町田町 (電話五一三番)
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽淸
藥劑士 佐竹菊雄
內科 小兒科
外科 花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

產婦人科 花柳病科
井阪醫院
午前宅診 午後往診 入院應需
平町田町(元合津醫院跡)
電話五五九番

(共濟病院)
輕費診療開始
郡內卅四ケ町村の囑託により六月一日より輕費診療を開始す
◎診療科目 內科 小兒科 外科 性病科 皮膚科 產婦人科 物理療科 耳鼻咽喉科 X光線科
◎診察料 共濟會員 無料 輕費診療 五十錢
◎藥價一種一日分 共濟會員 十錢 輕費診療 十五錢
◎入院料一日分 共濟會員 輕費診療 一圓以上
院長 醫學博士 石山謙郎
本院主管 賀澤忠治
◎衞生試驗 醫化學的檢査は何でも致します遠慮なく御利用下さい
◎公休日は廢しました
尙御不明ノ點ハ各町村長並ニ本院ニテ御遠慮ナク御聽キ下サイ
磐城 共濟會 電話六四一番

度量衡計量器
吸入用酸素
酸素吸入器
關內藥局

入院隨意(自炊の便あり)
外科專門
X光線科
平南町
上田醫院
病室完備
(電話一二九)

生花教授
池ノ坊流 生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町四丁目和泉屋旅館
須藤まつの

耳鼻咽喉科專門 日本醫大院長醫學士 鈴木正男
齒科口腔外科 日本齒科科長醫學士 鈴木喜政
下谷區入谷町二九一
入谷改正通り東交番前
鈴木醫院

金を掛けずに濟ます
暫定的平町役場實現
縣議戰後模樣替えに着手し
來月下旬頃迄に移轉の豫定

舊商業學校舍を充當して一時の凌ぎをつけようとする平町役場の移轉問題は愈々此程の委員會に於て之れを實現する事に決定した。時期は該建物を縣會議員選擧投票所として使用せねばならぬ關係上來二十五日の選擧終了後に於て現在建物の位置變更及內部の模樣替えに着手し移轉は來月下旬頃になる見込であると云ふ、大体の仕樣設計は現在舊本校舍の背面に接續する三十二坪の武道敎室を前庭の西側に移轉して之を議事堂とするを最大の工事とし他は現舊校舍の玄關口より正面突き當り迄及び其れより左折する敎室廊下の床板を撤去し一般參廳者が土足の儘自由に出入出來る樣L字なりのコンクリートに改め之に勘定台を附けて收入役以下各係の受口を設け各吏員は四十六坪の事務室に於て緩くり執務する事が出來る樣になる設計であるが此外は從來水道部事務室內にある擴張部普通部間の仕切り撤廢或は職業紹介所事務室を二間程狹少して簿册倉庫とするが如き極めて簡單なる模樣替えで總工費僅かに五百圓を出でず、採光通風其他既定豫算の七萬餘圓を投せんとする理想的の新築廳舍に及ばざる事は勿論であるが先づ以て暫定的の平町役場としては大体間に合ふらしく尚ほ移轉後の町長室は玄關右入口の現水道課長室を以て之れに充てる筈であると

豐間漁港問題で
縣當局氣を揉む
本省關係の手續に就て
けふ嚴重警告を發す

本年度事業豫算の三萬圓を地元に於て負擔し愈々起工する事になつた豐間漁港修築に關する縣の施工認可は元來內務省から埋立工事の認可を受ける事が前提條件となつてゐるのを縣の認可發令を急いだ結果內務省に對する手續きは遲滯なく取り運ぶ條件附きで便宜の裁量を受けたものであるが工事の着手は認可後十日以內と云ふ規定に拘らず內務省の埋立認可が無い爲着工する事が出來ず荏苒未着手の儘になつてゐるので縣では漫然放置する事の出來ぬ監督上の立場から平土木監督所を通じ今五日同村に對して嚴重なる警告を發した

平窪、錦の小學生が
養蠶で金儲け
好成績の一蛾飼育
漸次各校に普及平

平窪、錦の兩小學校では學校當局の發意と養蠶同業組合等の慫慂により夏休みを利用し高等一二年生をして初秋蠶の一蛾飼養をなさしめ給桑其他凡て學理的の方法により之れが指導の宜しきを得た爲營繭成績頗る良好で平窪校(六十名)二十貫、錦校(七十名)十八貫餘の收繭を見るに至つたので平窪校では昨四日繭市場見學旁々四倉市場へ錦校は植田繭問屋へ賣り込み何れも三十一圓の高値を以て取引され兩校とも數十圓を得たので一部を兒童學用品の購入資金に充て殘餘を學校基本金に繰り入れる事になつたが今後郡內各校に於て之れを實行する時は當に小學兒女の實物敎育上寄與する處少くない許りでなく學校基本金の造成上頗る良好なる結果を齎す事となるので農山村の財政が極度に疲弊して居る今日最も機宜に適した試みとして各方面の注意を喚起してゐる

迫つた二百十日
無事通過の見込
氣溫は下るが晴=ご
小名濱測候所の觀測

心配した二百十日は無事通過したものの來るべき二百二十日に於て一荒れ來られては。と地方の農家はハッキリせぬ昨今の天模樣に對して些か不安に驅られて居るが小名濱測候所の觀測によれば

昨今の曇天は日本海北部に在る七五六ミリと云ふ高氣壓とオホーツク海北部の七七六ミリと云ふ高氣壓が影響した爲で明六日位迄この天候を持續し其後は北から移動する高氣壓の關係で氣溫は低下するにしても大体晴れる見込みである、颱風は目下小笠原島の南西に浮動してゐるが恐らく問題になる樣な事は無い豫測で彼此二百二十日も無事に過ぐるものと想はれる云々

自動車 店頭閉塞問題
更に縣へも陳情
湯本驛前居住者代表
けふ亦櫁村署長に懇請

湯本驛前居住者一同が終日交互に停留する乘合自動車に店頭を塞がれ營業上大なる支障を來すと云ふ處から三十餘名の贊成調印を求めた上一兩日前數名の代表者によつて之れが徹退方を陳情したに對し平署では差し當り其間の緩和策も無く兩者の爲夫々考慮中であるが如何にしても陳情目的の貫徹を意氣込む前記代表者は今五日再び平町に出頭櫁村署長に會見の上從來の發著地點たる驛前より驛と町の中間なる天王崎地內空地へ移轉方を提案陳情する處あつたが同所は小名濱、湯本間のガソリン軌道車の發著地點に當りこゝに營業所を有する鈴木自動車が從來獨占的に利用し來つた場所で殊に右提案を實行するに些か面倒なる事情ある爲かあらぬか所期の諒解を求め得なかつたので一同は同署長に詳細苦衷を訴ふる一面更に縣保安課に向つて同樣陳情する事となつたと

赤井嶽祭典に
臨時自動車
十五臺を增發運轉

自動車協會平支部では十一日の赤井嶽藥師祭典當日平常の三臺に臨時十五臺を增發運轉する事となつた

民政派候補決定
委員から交涉開始

石城民政部會の縣議候補者豫選會は今五日午前十時半から平町南町俱樂部に於て開催萩原義雄、小松章、草野三郎三氏を候補者に擧げ吉田寅之輔氏外二十五名の委員により直に交涉を開始する事に決定零時半散會した

投檜 (寄書歡迎)
選擧民の希望

◇選擧ブローカーに尾行を附して、投票買收の弊害を未然に防止すること、言論文書に對しては可及的自由を尊重すること等々、この二つは選擧の公平を保ち選擧戰術を正しく導くための二大原則でこの二つがその筋の取締によつて確保せられるならば、或ひは本縣初めての理想選擧が今回に於いて實現せらるるに庶幾きをわれ等は期待してる

◇われ等は選擧界の腐敗を嘆き、その宿弊打破を主張すること極めて久しい。所謂選擧費の計算を嚴正にする事は選擧界の腐敗を匡正する重大な條件である。この調査と取締を徹底するに選擧權の行使を嫌忌するの風潮を正しく防止し、棄權による選擧民の意志不表示を打破することも當然必要である

◇其筋の取締方針が『正しく明るい選擧』であるのは、政府の方針が正しく明るい選擧たらしめんとするにあるとわれ等は解して意を强うする。櫁村平、岡部植田、松本四倉各署長ともに聰明の吏材、一般民衆の信任極めて厚きものがある今回の選擧に於て、この信賴に酬ゆべきではないか

(湯本町一有權者)

平町新風景
健康シーズン
種族保存の過剩を憂ふ
失業氏令夫人の悲哀

六分の商賣氣に四分の好きを取り合せたゝネルギッシュな素人女を取り持つ肉の取引場さへあるタヒラなんです、長橋の袂に。お城山の畠のへりに。產兒制限相談所の廣告柱が樹つてるのは之亦地方都市の爛熟と頽唐とを語る一形態として今更目に角立てゝ不思議がる樣な野暮りストは無いんです。

醫者が蒼くなると云ふ健康シーズンです。お邸町の籬內に柚子が色づく秋は忍びやかに歩み寄て身心頓に緊張、三度のご飯も捗が行くんです。恁麼精氣潑溂たる秋に於て一としほ警戒の要ありとして此際種族保存の過剩を氣に病んだのが近頃×社から勇退を餘儀なくされた彼氏夫妻なんです。

けたゝましく鳴る格子戸の鈴に先づ度肝を拔かれたが思ひ切つて相談所を訪れた彼失業子令夫人なんです。處女の恥らひを見せ乍ら蚊の鳴く樣な聲で語り出したに對して其處の女先生は日光日暮らし御門の說明の樣な鹽梅式で立板に水の澱みも無く朗かに。有るんです。

──その生物學的意味なんですがね、卽ち何の目的の爲に此の週期的現象が起るのであるかと云ふ疑問になると今日でも未だまだ首肯出來る說が無いんですの『月經は受胎せざる卵の流產なり』とか『月經は卵子の着床に準備する自然の切開なり』とか其の道の大家の名說があるんですが何うもワタシ達には心から滿足出來ないんですの──何だか、ルトモから買つて讀んでゐる婦女界を讀むなんかよりは遙かに六つかしい話しになつて來たんです。

自慢ぢや無いが自分とて他人樣に後れを取らず十四の秋から經驗してゐる事を聽いた丈けでお米五升代の聽講料を拂つたんです。榮養不良のコスモスがひよろ〳〵と秋風に泳いでゐる鐵北の某家庭の奧さんの僞らざる告白なんです。失業者には過ぎた精力を持て餘しての告白なんです。

二萬口に漕ぎ着ける
平局の意氣込み
簡保勸誘漸次成績擧る

平郵便局に於ける去月中の簡易保險募集成績は新規加入三百八十五口で例月に比し約二倍の好成績であるが之れは同局が健康相談所設立を前にして暑休を廢し殆と係員總動員で鋭意勸誘に努めた結果で之の拂ひ込み金額三百圓六十錢一人當り一圓宛で不況の折柄比較的少ない、尙ほ四月以降を累計すれば新規加入九百五口金額七百八十七圓六十錢となり解約も毎月可成りあるので殆ど一進一退の有樣であるが同局では數ヶ月を出でずして責任口數二萬口に漕ぎ着ける意氣込みである

江名港關係丈けで
月平均約五萬罐
東北一の殷盛を證據立てる
各種油類の消費量

江名町漁業組合の調査に係る同港出入船舶使用礦油量は鰹漁船一航海毎に三百罐乃至三百五十罐、機船底曳が四十罐乃至五十罐宛を使用し之の一ヶ月合計使用量は實に

輕油一六、六〇〇罐　重油一六、二〇〇　ミリー油六、〇〇〇　マシン油七、二〇〇　石油一、二〇〇　合計四七、五〇〇

で艀舷傳馬船の如きも漸次礦油使用の機船に改造される結果次第に使用量は增加する一方で現在ですら東北一の使用港であると

高値がグラつかず
養蠶家有卦に入る
依然縣下一を持する
四倉繭市場の活況

四倉繭市場昨四日の取引は出廻り白繭總貫數九百二十九貫最高三圓三十七錢、最低二圓五十錢、賈馴三圓八錢で品質の良好なると桑葉の不足に因る掃立減をはじめ支那の水害に依る半減、英佛二國の二割五分減等世界的の減收から必然的に先高を豫想し製糸家が競爭買をするため依然高値を持續し同所當日の最高三圓三十七錢は之亦縣下一の成績である

何故の厭世乎?
內郷村宮の青年が
解し兼ねる猫自殺未遂

內郷村大字宮字瀧二〇山崎定雄(三四)は昨四日午後六時頃家人の隙を窺ひ猫イラズを多量に嚥下し自殺を企てたが死に切れず苦悶中家人に發見され平町共濟病院に舁ぎ込み應急手當を加へた結果生命は取り止めるらしい原因取調べ中

一家三名が罹病
磐崎にチフス發生

磐崎村大字西郷字大荷田二五二農佐川丑太郎(六二)同人孫たか子(一三)同慶(八)の三名は一昨日何れも腸チフスと判明直に隔離されたが同家では去る五月中丑太郎長男政信(四〇)が同病に罹つた事あり傳染系統をそれと觀て附近の大消毒をなした

尋ねる娘は仙臺に
親泣かせのフラッパー

平町六間門二九雄一娘東條君子(一九)は豫て素行問題で香ばしからぬ評判を立てられた事あり兩親もその監督に氣を病んでゐたが去月中家出した儘行衛が知れぬ爲實父から其筋に搜査方を願つて置いた處昨四日仙臺署から同市東七番町荒井甚平方で同人を保護してゐる旨の知らせがあつたので今五日同人を引取のため出仙した

十八の酌婦
前借を蹴て逃走

平町四丁目四五料理店林家事林スイ方抱え酌婦安達郡下川崎村八田四八生れ淺倉フミエ(一八)は昨四日午後五時頃前借二百四十圓を踏んで逃走したので抱主から今五日平署に屆出た

深夜の平町を
迂路つく怪漢
竊盜被疑者久之丞

今五日午前一時頃平町一丁目附近を徘徊してゐる擧動不審の男あるので平署員が同行取調べると右は當時住所不定無職須賀川町森ノ宿生れ前科三犯西牧久之丞(四三)と判明竊盜被疑者として取調べ中

豚公斷然牛馬を凌ぐ
──近代人の嗜好を物語る──
平署管內去月中の屠肉數

平署管內に於ける去月中の屠畜數は

種別	本年	昨年	增△減
成牛	八	一〇	△二
豚	一〇三	八〇	二三
馬	九	一一	△二

で成牛、馬で計四頭を減じてゐる反面豚は二十三頭の增を示してゐるが右は豚の生育が僅か七ケ月乃至一ケ年の短期なばかりで無く飼育料も比較的低廉な爲殆ど廢牛と同樣の値段で提供されるのと近代人の嗜好が漸次之に傾きカフエー、料理店の如きも頓に豚肉を使用する樣になつた結果であると

ヂフテリア頻發

平町立町六作治二男鈴木敬忠(五)舊城跡三九高木豊(三)の兩名は今五日何れもヂフテリアと判明隔離した

泉藏院總代再選

平町久保町泉藏院では此程總代の滿期改選を執行左記諸氏が何れも再選した

荒川恒次郎、靑木榮吉、白土孝太郎、堀彌之松

◇聽逃勿レ短期持別大興行◇

天下無敵 大浪曲 一若改メ 吉田奈良丸師 外數十名出演

師ノ獨特讀物 前席 勸進帳 後席 十八番ノ讀物 神崎東下リ 長講席

◎期日……九月八日(一日限リ絕對日延ナシ)
◎時間……午後五時(花火合圖)開場
◎場所……平町 聚樂館ニ於テ
◎入場料……特等席御一名樣金壹圓二十錢 一等平土間席御一名樣金壹圓
◎前賣特別割引券發賣所 平町 會田時計店 天地堂 大谷時計店 三光堂 岩本商店

安齊外科醫院
內臟外科 外科一般 花柳病科
入院隨意 自炊の便あり
平町田町赤心堂病院跡(電話四七五番)
看護婦募集

市原醫院
內科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋疾 皮膚病 市原三三男
平町田町本通 (入院隨意) 電話一一四番

お醬油は……ヤマフル
鹽屋
味噌 醬油 たひら正宗 鰹節 食料品
山崎合名會社
福島縣平町 電話(營業部一〇番 本店二七番)

父志賀伊之松儀永々病氣の處藥石効無く二日午後十時死去致し候に付乍略儀以紙上謹告候也
追而葬儀は六日午後二時自宅出棺神谷村大圓寺に於て佛式相營可申候
九月五日
男 志賀吉次
外親戚一同